

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

千本小	学校	児童数	63
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.39	21.10	30.06	34.97	42.17	9.30	112.48	19.50	47.59
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	16.41	18.69	38.47	34.25	29.59	9.91	106.40	13.16	49.77
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男女ともに体力合計点では、全国平均・大阪市平均を下回る結果（全：5P、市：3P）となった。昨年と比較すると、男子は全国平均との差は約2ポイント広がり、女子は約1ポイント縮まった。種目別では男子では、握力・上体起こし・50m走、女子では、握力・上体起こし・長座体前屈・ソフトボール投げで、大阪市平均を上回った。一方、反復横跳びと立ち幅跳びでは、男女ともに下回った。また、男子では長座体前屈、女子では20mシャトルランでも下回った。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況では、男子90.3%（全国：+3P、市：+1.2P）、女子87.5%（全国：+1.6P、市：+4.1P）であり、男子がやや下回る一方で、女子は全国・市平均を上回った。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合では、男子12.9%（全国：+3.6P、市：+2.3P）、女子9.4%（全国：-5.2P、市：-8.1P）となり、平均に比べて男子は運動習慣がない児童が多く、女子は少ないということが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では体育委員会による運動に親しむ機会を設けてきたことや、体育科の授業研究を低・中・高学年で実践してきた。それにより、休み時間に体を動かして遊ぶ児童が増えたり、教員の体育科学習の指導力向上を図ったりすることができた。

しかし、結果からもわかるように、立ち幅跳びが昨年度と同様に全国平均・市平均を大きく下回っており本校の大きな課題であることが浮き彫りとなった。運動特性の「力強さ」と「タイミングの良さ」、そして素早く動き出す能力である「瞬発力」を高めていく必要がある。これらの課題に対して、体育部員を中心としたメンバーで簡単に実践できる運動や体育用具を活用した実践例を啓発していくことで、改善を図っていく。